明るい郷土

住みょい高



44号

月 5 4 日 発

行 役所 発 萩 市 課 編 集 總 務 印刷 藤枝印刷所

投資的

事業の重点

施

策

高萩市長

度当初の予算編成に当りまさてここに昭和三十四年 を申上げる次才でございま わけであります。しかしな 成に一大困難を予想された 大にして、一般財源に乏し であり之に要する経費も尨 ことは、本市の誕生以来非 してまづ汁一に考えました ただきます。 ことをまづもつて御諒承い せんので、 分な研究の余地がございま すが、私就任以来日浅く充 い本市にしては、予算の編 常に大きい建設事業の累績 に当りまして、施政の方針 意を盡せません

一、東小学校のオ三期校舎 秋山小学校の老朽危険 建築工事費

予算の委員会連合審査会 八二八万円 国鐵立休交 叉工事費 七〇三万円

四

計画事業費 新農村建設

尚、本年新たに国民健康

五.

旧事業費 道路災害復 二〇二万円

九六万円

で都市計画事業と併せて三 費を特別会計に切離したの 保険の実施と、と畜場の経 がら編成方針としては健全 昭和三十四年度を迎える 重点的投資を行い行政水準建設計画の基本線を中心に =; 存であります。 重点的に施策実行いたす所 ものでありまして、これを といたしましては左の如き 力した次才でございます。 の維持向上を計ることに努 ることを基本として、新市 併せて自己財源の確保を図 消費的経費の節約を行い、 効率的な運営を図るために 財政の維持を考え、予算の 本年度の主な投資的事業

事業工事費 九三万円

至才でございます。 等が主なものであります。 準額改訂により四四七万円 生活保護費に於ては保護基 与費の自然増一七五万余円 え、前年度に比し三、二八 五、七六二、八七〇円を数 一、六五〇円の増となつた =; 以上才出の合計額は二二 一經費の増加したものに給

減額したものは地方交付税 万円が主なものであり、又及び財産收入の一、一五九 市税の八二九万円、 の二三四万円国庫支出金の 前年度より増加したものは は鋭意努力を払い才入才出 ○万円が主なものであり 存でございます。 のバランスの維持を計る所 ますが才入の確保について 一三〇万円市債の一、七〇 一方才入におきましては 公企業

報告才二号 おり可決承認した。

> 不納欠損額 收入済額

1、001、七八一円

110三、〇六九、〇四〇円

新 72 及 区国 民 例 Th

びと畜場特別会計 健康保険事 を設定 業

九 八 **農道改修事業費** 道路橋梁工 築工事費 事八費一 四 万円

紹和

十四年度施政方針

健

全 財

政

0 維

持

کے 的

Q 失業対策事業費 消防施設整備費 三四〇 五三〇万円 万円 万円

行政的効果を発揮するため 算は時代の推運に伴い市の 以上考えますと本年度予

計一九、九五〇、九六〇円

険事業において一七、

五三

1、1100円、

と畜場にお

と相成る次才であります。 いて五二四、一六〇円

ことはいなめない事実であ の投資的事業は数多くある

九〇二万円

篤

経常的経費中消費 地改良区への助成 九七九万円 九〇万円

市議会定例会は去る三月十昭和三十四年オー回高移

当初予算額 定について 度高萩市才入才出決算認 (才入)

市会だよ

る困難のことと思います。 い本市としましてはすこぶ りますが、一般財源に乏し 本年度の予算執行に当り 才

IJ

の協力一致態勢の下に市民係等を充分に考え、市吏員 新会社の設立、国民健康保ましては向洋炭礦の閉山と に対する全体のよき奉仕を 、小学校の統合関設立、国民健康保

追加更正予算額

二三、六八八、五〇一円

一八四、八三一、二三〇円

繰越充当額

方針に基いて、 總額二二 総額二二 算市会であつて、新市建設は新市長就任はじめての予 算並びに昭和三十三年度追昭和三十二年度才入才出決 計画による幾多の重点事業 一日に招集同月十九日まで わたり審議した。尚その他ぼる予算について長期間に を遂行しながら健全財政を 議場で開催された。本議会 八日間の会期で高萩市議会 について慎重適切なる審議 加更正予算など二十九案件 五、七六二、八七六円にの

調定額

二四五

一九、六三一

二二〇、三六九、三八四円

に対して

予

算現額

六、000,000円

昭和三十二年

七

水路頭首工

改修事業費

市計画事業において一、八

六〇〇円国民健康

次才でございます。即ち都 特別会計の予算を編成した

收入未済額 予算現額に比し 一、四五〇、 一一、四五〇、五九一円 五九

一円の

年 | 予算現額 | 九四六、四六 | (才出) | 7 | 第現額に比し五二〇、一 支に 收に 子 支出 済気に対して 調 報告才三号 昭和三十二年 6 予 前年度 ・支 追 対し対し 二三、六八八、 近加更正予算額 一八四、八三一、 人入及し 入才出決算認定につ度高萩市都市計画事 一初予算額 とな 算 算 一才出 定 済て 済て 、額 現 現 四 人繰越額 らった。 、額 額 額 額 額 額 DП 四 額 JL 1円となった。 000 77. 額は一一、五二 九九七、六六七 一六六、 一六六、 四 九 六 六七 깯 000 六三 五 七 六七 い業て才 =0 0 7 五.

ある。 正に関めて 行ほ特 改酬 正改 一玉 事訂

案才七号 T 業特別会計設定につ 国 民 健康 保

> する 議 決で あ 建るの 物買入に

い除

昭和34年度高萩市才入才出予算一覽表

般 会 計

			才	入	AND THE RESERVE	
款	科	目	本年度予算額	前年度	比較増減	%
1	市	税	77.601.800			
_2	地方交		25.500 000	27 836 00	2.336 000	11.3
3	公営介 び材産	收入	15.801.720	4.207.88	11.593 840	7.0
4	分担金 負 担		982.900	844.80	138.100	0 4
5	使用料		3 362.610	3 194.01	163 600	1.5
6	国庫支	出金			△ 1.301.300	284
_ 7	県 支 !		5.731.220			
_8	寄 附		898.030			
9	繰越		300 000		△1.200 000	
10	雜收		2.973 530			1.3
11 !	市	價	28 500 000		17.000 000	
J	入合	Ħ.	225.762.870		3 281.650	100
		5	扩	出		
款	科	目	本年度	前 年 度	比較増減 ムは減	%
_1	護 会	費	5 621 870	3 796 730	1.825.140	25
2	役所	劉	29 571.740	56.076.790	26 505 050	13.1
3	消防	費	5 496.790	4.974 540	522.250	2.4
4	土木	費	27 825.130	18 700 200	9.124.930	12.3
5	教育	費	54 214 000	51.544.710	2 669 290	24.0
6	社会》		66 514 860	61.567.350	4 947.510	2.95
7	保健衛	生質	2.489.150	2 258 940	230 210	1.1
8	產業祭	洛費_	12.417.360	8.518.570	3.898 790	5 5
9	財産	費	3.117.140	1.462 590	1.654 550	1.4
10	統計調	查費	170 360	171 840	1.480	0 1
11	選挙	77	_1.782 330	730 130	1.052 200	0.8
12	公 债	47	6 866.410	4 646.310	2 220 100	30
13	醋支 E	金品	9 375 730	7 732.520	1.643210	4.2
14	予 備	豐	300 000	300 000	0	0.1
7	出合	計	225.762.870	222 481.220	3 281.650	100

職案オー五号 一時借入金 職案オー大号 一時借入金 職案オー大号 一時借入金 職案オー大号 一時借入金 職案オー大号 一時借入金 を変事業費起債について 職案オー七号 東小学校 大型型位長 東小学校 である。 を行免して を変事業費起債について を行力のでおり、で を変事業費を出して を変事業費を出して を変事業費を出して を変す、である。 を行力をである。 を行力をできまる。 を行力をできまる。 を行りまる。 を行うな。 を行る。 を行うな。 を行うな。 を行うな。 を行る。 を行うな。 を行る。 るめ 条例の改 E 事項であ 地処分 分反

議案才二四号 国有地借地について について について について について に対か、地内回有地を市立 が地内の市市道へ水路で がない要用廃止する事件決議である。 がの発用廃止について がの発用廃止について 大字島高地にについて のため向ち五ヶ がの発用を市道路、水路でを良 がない変である。 高萩市固定

譲案 オニ三号 である
一頼空購入する事件決議
一頼空購入する事件決議 議案才二三号 自動車購入に 一、多質郡町村会館を 本年度において市有財産 本年度において市有財産 として取得するための購 として取得するための購 として取得するための購 として取得するための購 中購入 購産を 番高 生明 三高

議案外二九号 一時借入金 議決変更ついて 昭和三十三年年度当初 に護決した一時借入金の 債選期日三月三十一日限 りであつたのを出納閉鎖 期日の五月三十一日限 りであつたのを出納閉鎖

明 奶治三十三年五 治 地萩 治 市大字 市 四 二十 本町 + 九 Ŧī. 年大 年神二 秋 年五月廿二日生有 賀 忠次郎 当二、 六 一月二十二 月部 一十新五一 0 五 八 日郎 日郎

識

するための事件決議事項千坪を高萩市公園に指定一部立附近一帯約一万五戸新立附近一帯約一万五戸五 定につい ある。 T

高萩市大字横川四 明治四十三年四 明治四十三年四 高粉 同意を求めること|審査委員会委員 一勝番

> 予算現計 追 11111, 短加更正額 二三一、四四五、七二四甲度高萩市才入才出追加 年度高萩市才入才出追加 東正予算について 東正予算について 二回更年案 、額 額 六 七 玉 70 八金三 五 九

-194 -

7

昭和34年度予算

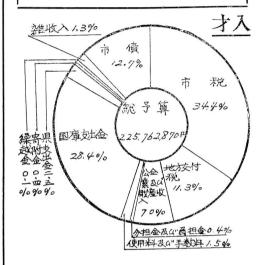
投費的経費

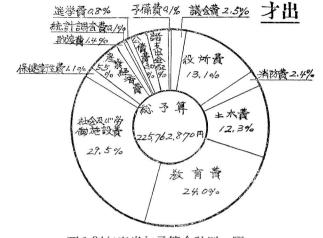
75. 617. 500

3 3 %

消費的経費

150. 145. 370





昭和34年度当初予算会計別一覽

全	<u>₹</u> #†	別	本年月子算名		「年		 上 増	較 滅
_	- 般 会	計	225.762.8	70 22	2.481	.220	3.281.650	
特	都市計	画 費	1.895.6	00	1.823	3.450	72.150	
	国民健康任	呆険費	17,531.2	:00			1 7 5 31.200	
別	と畜場	費	524 1	60			524.160	
会	計		19.9509	60	1.823	450	18.127.510	
計	合	計	245.713.8	30 22	1.304	670	21.409.160	

都市計画事業特別会計

国民健康保険事業特別会計

荿	入	歳	出
科目	予算額	科 目	予 算 額
会營企業及び 財 産 収 入	1.795.550	事 務 費	605.200
繰 越 金	100.000	測 量 費	486.652
雑 收 入	50	道路橋梁費	703.750
		水 路 費	100.000
合 計	1.895.600	合 計	1.895 600

	歳		入			芯	સ્	出			
科	目		予算額		科				予算額		
国民健康保険税			9 004.500	役		所		費	2.440.100		
一 部	負担	金	400 000	保	険	給	付	額	13.702 600		
使用料	及び手	数料	55 000	保	保険施			費	280 000		
国庫	支 出	金	5 570.100	公	公		債		116 000		
繰	入	金	2.500 000	諸	者 支		支 出		出 金		723.700
雑	收	入	1.600	予		備		費	60 000		
合	al	-	17.531.00		合		31-		17.531 200		

と畜場特別会計

歳	入		歳	出
科目	予算額	科	E	予算 額
使用料及手数料	341.400	と 畜	場費	524.160
繰入金	182 760			
合 計	524.160	合	計	524.160

を防いだり、農地を取得し 相続による自作地の零細化 たり、小作地を買取つたり 図るため、自作地を維持し

④疾病資金といつて病気や

長期間低い利子 (年五分) たりするのに必要な資金を

で貸付ける制度です。

一、どんな種類の資金が貸

の納税は

期

4月30日までにお納め下さい 課税標準額は前年と同じです下 記の地区へは係員が出張いたし ますからご利用下さい

旧上君田出張所

4月30日 下手綱公民館

4月30日

産

(午前10時より (午後3時まで

{午前10時より 午後3時まで

す

農家 の皆さんへ

自作農維持創設資金制度について

自作地面積が零細であるた ることは、經営安定の要件 礎である

農地を所有してい であります。ところが最近 農家にとつて、經営の基 度とはどんなことか。 自作農維持創設資金制 他人の自作地を買取つで

②小作地取得資金といつて る資金 ようとするときに借受け 地を買取つて自作地にし 地主から小作していた十 るときに借受ける資金 経営の拡張をしようとす

放棄をして貰うために支 分を買取つたり、相続の ぐ目的で共同相続人の持 經營が零細化するのを防 によつて農地が分割され

原因で転落する農家が年々

続などによる思わぬ出費が

わめて多く病気、災害、相 め経營の不安定な農家がき

相続資金といつて、相続

そこで農家の経営の安定を 増加している現状です。

> ⑥負債整理資金といつて自 る借金、共同相続人の農作地、小作地の購入によ うとするときに借受ける 家がその借金を整理しよ 自力では返済出来ない農 より借金をし努力しても 病気、災害などの原因に 地を取得したための借金 借受ける資金

利息は年五分、据置期間①一農家当り最高二十万円 一、とんな条件でどの位の は三年以内で償還期間は 額が貸付けられるか

ちあがろうとするときに におきた経済危機からた ②宅地、山林などの購入、 、借受者にはどんな資格 になりません。 築費などは貸付けの対象 土地改良、住宅の修理建 二十年以内です。

①経營規模が八反歩か、 かまたは兼業收入が農業れ以下であり、専業農家 がいるか

[的である。今年私立大

ないとうまくないのであ雄弁の三つがそろってい

のではない学識、人望、 副会長は誰でも出来るも 占め数年、会を牛耳って ス的存在にある有力者で

いる傾向がある。また正

②農業に精進する見込があ いもの 他に資金の調達方法がな りこの融資を受けるより 收入より少ないもの

までお申込下さい。 ◎借受希望者は農業委員会

皇太子 成 婚 るを奉 一祝して

例

が各地で盛大に実施されま皇太子御成婚の慶祝行事 協力を御願い申上げます。 存じますから市民各位の御 して慶祝の意を表したいと すが当市も提灯行列を実施 0 日時四月十日午後七時 集合場所中央児童公園 慶祝提灯行

①自作地取得資金といつて

⑤災害資金といって、

風

ける資金

がろうとするときに借受 つて經済危機からたちあ ない農家がその金を支拂 農地を売らなければなら つた金の必要がおこり、 怪我などが原因でまとま 拂らのに借受ける資金

付けられるか

もやつてゆけない農家が 増やさなければどらして 営が小さく、農地面積を 家族人員などに比べて經

る災害をこらむつたため 没、火災などの原因によ 害による農地の流失、埋

0 記念林造を

ことになりました。 御慶事をお祝いして全国的 国土緑化推進委員会では、 により推進することになり 本県でもこれに呼応して次 に記念植樹運動を展開する

_ ました。 林、部落有林及国有林造林地はなるべく市有 記念造林に用 の部分林

二

いる苗木

古

50

껠 助金を一般より二割程学校造林については補 地ごしらえ、樹種の選 度多く交付されます。 定植付、将来の保育な あつせんします。

研究費などの少額の寄付

いたしかたがないがP

科用具、

施設補助先生の

れる金額が少ないから教 国や地方自治体から出さ し入学してから学校費が 対にないのである。しか から入学時寄付などは絶 いては寄付団体ではない 思うが公立小中学校にお などに当てられるものと 設、先生の研究、旅行費 これは私立学校で教育施 いるが驚かざるを得ない 要すると某新聞が報じて 万から五十万円の寄付を 学に入学するのに、三十 をよくしようというのが を合せて子供の教育環境

玉 專 なるべく多くの青少年 ること。 が参加できるように 業の実施に当つでは

心からお祝いいたしましよ積極的な参加をお願して、積極的な参加をお願して、校、PTAなど関係方面の校、PTAなど関係方面の 役所産業課まで御連絡下さ 国の統計をとりますので市 植樹を行つた場合は全

どについては林業指導 員が行うようになりま は系統の明かなものを

> の人事に干渉したり独自 TAが授業の内容や光生

の活動を忘れた脱線のP

でPTAの幹部も改選す

のである。(原文のまへ) 環境をよくする様望むも Aと協力して子供の教育 先生方はなお一そらPT 中学生が目立って多い。 化して学校を休みがちな るのに過ぎない最近不良 得ない気持で見守ってい

千代田

佐々繁男

の 選挙當日の市役 事務について 所

が投票事務に従事するため事務は市役所耺員の殆んど 納税事務と、 の同時選挙の投票日である 「四月二十三日」の市役所 一部を除いた事務 県知事及び、県議会議員 市民課の事務

> ら予めご了承願います。 せて戴くことになりますか ~~~~~~~

單 ブラシル産業組 獨 移民募集中! 合

右希望の方は市役所産業課 で募集中であります。 へ申込みましよら評細につ ては産業課 ブラジル移民を海外協 今年で十三年にな PTAが生れ を見るに幹部は町内のボ るのであろうが現在まで を望 む

護者と、教師が力 るが、もともと保

市民の

TA 0 あ り方

P

-196-

するのはどうかと思う我地方自治体の条例に反対

基いて発せられる省令や において決議した法律に

々保護者はなんとも言い

表である国会議員が国会れない日はない我々の代

いづれかの教組が報導さ れ斗争だ、やれストだと 大きな見出で大会だ、や のであるが毎日の新聞に る。つぎに先生方に望む

ţ < 聞 き 考 え、 投 を

を受けたり、

ことしは選挙の当り年といわれています。

常選挙が行なわれ十一月には市民にとつて一番身近な市議会議員の選挙が行なわ四月二十三日の県知事および県議会議員選挙を皮切りに六月には参議員議員の通 れる予定になつており、正に選挙の年というところです。 票

明 日からの生活にひびくこの一

政 治 ٤ 生 活

たくしたち有権者は、一体 選挙を目の前に控えてわ

治のよいわるいは、すぐにるものは政治です。この政 たち国民の生活の基盤とな みましよう。 どのような心構えをもつて わたくしたちの生活に響い 言うまでもなく、 ようか。ここで深く考えて 臨まなければならないでし 幸不幸を左右する力を わたくし

1 いからといつて、政ですから、政治が悪 ばなりません。 であることを知ら 任は当然自分のもの 者なのですから、責 たちを選んだ者は実 ますと政治を行う人 りますなぜかと言い にわたくしたち有権 ね

もつています。 田頃一口に政治が悪いとか は離れますが、一体ことが はたづささわる者による のかあるいは何かほかのと さろに原因があるのか、お 考えになつて頂きたいとか ます。

ために

有權者の責任選挙と

えてみますと、この責任の 静かに筋道をたどって考 りにあることがわか ち国民のひとりびと 大半は、わたくした す。自分よがりのこととなりま 任をおわせるようなことは

挙のとき、正しいそして良 りません。 かと言いますと、それは選 治をよくすることができる では、どのようにしたら政 い人を選ぶ以外に方法はあ

市報で市民のみなさまに公 さきごろ「話しあい」や 選挙の極い を徹底するた

治家ばかりにその責

占

候補者をよくしらべて立派な 〇わたしも初めての選挙よ、 人に入れましょう。 治を行うことになりますと の生活が、苦 わたくしたち いものになる しい不幸な暗

もつて、

選挙にのぞみまし

1 年間のわたく これからの四 挙の結果は、 これからの選 ません。 に満ちたもの を明るい希望 したちの生活

かの大切な選挙です。わた対に暗い不幸なものにする 票のときだけでなく、 たいとお考えでしたら、投 くしたちめいめいが、ほん ければならないと思います こととして、 只今からこの選挙を自分の とらに自分の生活を良くし 真剣に考えな にするか、反

選

举

0

心 構

よい候補者とは

の選挙でぜひとも選ばなけ わたくしたちがこれから この名祭は、みなさんの申

管理委員会へ問合せ下さ 度があります、手続は選挙 ができる不在投票という制

けのうまいことや、できも 情実にかられたり、 たとおり選挙のとき義理や だまされたり、ありもしな 益となるような約束などで や物をもらつたり、ご馳走 しない公約に釣られたり金 めの呼びかけにもありまし 自分だけの利 己れを空しらして、骨て 身惜しまず仂いてくれ 高萩市のため、ひ りません。 のある人でなければな る正しい信念と実行力 域全体の発展のため、 ればならない人は、 地

○君の良心は棄権をいやがっ

いるぞ

また買收やきよう応な れるような人を、候補 違つても、悪いといわ は自分のためにも、 どの誘惑は、敢然とし 投票したりしないよう 者として推薦したり、 間

得をしたように思えても、

これのらの人が当選して政 たしますと、そのときは、 心にもない悪い人に投票い いデマに惑わされたりして

34 W ts. 搜 票

> たとえ市内に何十年住んで れた補充達挙人名窓です。 基本選挙人名绘と、昨年十

二月の市長選挙の際に作ら

いたとしても名窓にのりま

忘れてはなり ということを

権が国民のものとなり、そがなつた新憲法により、主 権するなどは、民主国家の の主権の行使ともなる選挙 償をもつて、同胞の血であ いことです。 で、尊い一票をむざむざ棄 員としてまことに恥かし また戦争という大きな代

票し、国民としての義務を 果すようにいたしましよう どんなことがあつても投

選 挙 獾 0 注 潓

申上げます。 有権者のみなさんに選挙権 ならないということです。 答に登録されていなけれ を行使するためのご注 まづ、あなたが選挙人名 意を

> 員会(總務課内)に提出し 来ません。 せんと、選挙権の行使が出 **芸登録申請書を選挙管理委** 右の期間内に補充選挙人名 もし名窓に登録もれの方は て下さい。 四月十一日から 四月十三日まで

不 在 投 票

つて当日投票へ行けない人 での止むを得ない理由によ 山等は除かれます)中など 日投票へいつてしなければ 投票は、 々の為に投票日前でも投票 院中とか旅行へ但し物見遊 なりませんが例外として入 原則として投票当

県議 県 知 会議 事 及び 目 Ħ 時 選 學

茨

城 城

投 票 は 4 月 23 (木曜日) d

下 上 上 上上

じます。 われてこそ、真に民意にそった政治が行りて、ヒューーによう、が、その地方自治の成否の鍵もまた選挙にあるといえましよう、が、その地方自治の成否の鍵もまた選挙にあるといえましよう、 はアードは、民主々義の母胎であり、民主政治発展の基盤であるという。 厳粛な気持でだれもが一票を行使するようにいたしましよう。わたくしたちはその意義を深く認識して不正を排し情実にとら一わたくしたちはその意義を深く認識して不正を排し情実にとら一挙が四月二十三日に行われることになりました。 住民の福祉が増進されるものと信といえましよう、選挙が正しく行 たちの代表者を選ぶため の基盤であるとい れることなく われ ます

間内に申請されるとともにから有权者であって名祭にから有权者であって名祭に方は、 期 _ 一、 一、 覧 四月十五三日まで 昭調和整 申 DU をしてくださ 月十 請期 三十四年 現 在期 H から H рų 1. 月十 DO 月十 Ė _ $\vec{}$ ٦, 異 縦 確 四級 四月十六日から秋覧及び異議申立 定 市の 識 地期日 融決 定期 四月 四月二十 四月十九 場 八十八日 所 役 限 神立期 H 日 ま 所 で

0

調整 充選

は

举

名

簿

計 中 大 上下横 若 望 赤 高 |

充選挙人名祭の調

整

-IL 人的 位ま 21 いよう

調整後の補充選挙人名祭の

高

萩才

一投票

舍 会 学 所 町 公 心 心

高の小

高

萩

市 の

役

所

-

七

前

合仲

萩才

加田

高

萩 口多質

地

方 部

町教

村育

会館

Ξ

六

一階議員控

室

午後

ま か

6 5

才

一投票区 一投票区

П 町 搜

票

X

搜

票

X

域

搜

票

場

所

权

者

数

授

票

時

間

表

また選挙を 学人が知る機会としてもらうために有が意見や政策を呼られために しに選

0

按

纜 髙 四 Ħ

0

順 萩所

F H H

> 学 後

> 校 115

,

場

八

4

の投票を後にします。の投票をさきにし、同投票の順序は県畿へ 投 冥用 違えてい 紙 いし事の よての投 うあ投票 0 色 ない。県知 ま投 殺り票用 分 票ま用紙 17 しす紙は 專員

のの

北 秋

方

授 将 搜

票 票 票

区 X X

和炭北

野砿方、北、

拓発山

開方秋洋

電上 Щ

能所高さ

下萩

山手公民館 秋山小学校

八六八

11 11 11

Ш 名

向上、

中 東秋

14

六 74

九 九

74

島

万秋島代山名 内島、名

町坑中

島下名、

町山

島

名公民

館

III

授

票

区

大(学)

石東

淹地

安

良川 萩中

公民

10

// 11 // 六時 七時

> 十時 しよう。 神経者のす ひ記事すに近に候。よ よ話近に候

	$\frac{1}{2}$	戸川	能	君田	君田	Л	栗	海	浜	戸	手綱	手綱	手綱才二	手綱	平
	一投	投	授	搜	投	投	投	投	搜	投	投	才三投票区	才二	才一	搜
į	投票区)	票	票	票	票	票	票	票	票	票	票	投票	1投票区	投票区	票
1	_	X	X	区	X	X	X	X	区	区			Ŕ		X
		大字中	く大字・	大字上	大字下	大字塔	大能牧場	大字明	を大字を	石 河 戸 京	宿内大 石 石 大 紅 町 大 紅 町	石舟、	前畑川の中側内	野千、世	大字福平
١		戸	一大円能	君	君	川	場栗	海	ン浜	尸	原子 凸	関	堀馬	豊田、栄、	苹
		川二	牧	田一	田一	円	円	円	円	円	を下、小 除手杉和	Ľ,	の場 内 す	、金 二成、 坑	円円
		円	(牧場を除	円	円				E		く綱岡田	菅ノ	内二本杉	坑、上	
		一中	除一大	L	下	横		7	屑 願	高	円上杉	沢関	杉、	和	445
		完 中川	(元能)	上科E	君	111	元高			戸	手綱	П	北組	高萩	椎名広雄宅
		芦丛	大能	田小	田小学	小学	高萩 市		成	公民館	公公	公民	公民館	炭 千砿	雄
		- 戸川小学校)	小館学	子校	字校	校	岡役 所	ブ	专	館	公民館	館		代田	宅
		学校	校				支							事務所	
1	-			_	_	_	所_	_				_		新_	
	t										~				
-	七九	二六二	九	四四	=	四〇三	=	一九	二八六	五九	1100	二八八八	五五	七四	四
N. KONNE	뗃	=	<u> </u>	四	八	Ξ	<u>=</u>	八	六	六	=_	八	九_	<u>O</u>	五.
MC							午午							午午	午午
OCT NAMES		//	//	//	//	//	後前 四七	//	"	//	"	//	//	後前 六七	四七
				ĺ			時時まか	Ì	Ì					時時まか	時時
- Annual							てら								でら
-				_		-									